

研究課題別事後評価結果

〈2018年度採択研究課題（ライフイベント延長課題）〉

1. 研究課題名： 精神疾患患者と実世界環境のインタラクションを円滑化するメンタル・バリアフリー支援技術開発

2. 個人研究者名

小泉 愛 ((株) ソニーコンピュータサイエンス研究所 アソシエートリサーチャー)

3. 事後評価結果

本研究では、実世界環境における不安や恐怖などの症状を緩和する非侵襲的な介入技術を、脳神経科学的な基礎知見を踏まえて構築することを目的とした。具体的には、従来の基礎研究と実世界環境のギャップを解消し、実世界環境において過剰な不安や恐怖を生み出す脳神経プロセスを解明し、そのプロセスを正常化する介入技術の開発を目指した。

成果として、従来の簡略化された実験環境から脱却し、情報に溢れるリッチな実世界環境において、不安や恐怖が生まれる脳神経科学的なメカニズムを明らかにし、科学的インパクトを明確にした。すなわち、恐怖という本来複雑な心的状態を研究の俎上に載せている点が評価できた。また、不安についての基礎研究と臨床レベルとのギャップを埋めるために、内的処理からの不安・複雑な状況・身体での反応の観点から研究する方向性にまとめることができた点も評価できる。

患者を相手にした研究はスタートしているようなので、そこからのフィードバックも今後の成果に入ってくることを期待したい。